

猪苗代湖の水質改善のボランティア活動

東北支部郡山分会

日時 2015年10月31日(土) 10:00~11:45

場所 猪苗代湖天神浜(猪苗代町)

作業 漂着水草回収

主催 NPO「輝く猪苗代湖をつくる県民会議」(理事長 中村 玄正 氏)

○ 今回の水草回収活動への参加

パナソニック松愛会東北支部郡山分会 10名

パナソニックグループ労働組合福島地区連合会(PGU 福島地区連)

11名

○ 活動報告

やや曇り空の天気であったが、猪苗代湖天神浜に今回参加の10名が集合、PGU福島地区連の皆さんと合流した。今回は、近隣の郵便局、銀行等の企業、地元ロータリークラブ、日大、地元高校生等、約250名と大人数の参加となった。冒頭、主催者側代表の中村氏の概要説明があり、水質保全の為に有機物循環システムを構築していく夢を話してくれた。

『水草の繁茂、そして枯死によって水質汚濁が起こる(COD、pH上昇)。腐食前の水草を回収し、堆肥化・資源化していきたい』と。

湖岸に漂着した水草を回収、砂が付着した水草は更に湖水で濯ぎ、コンテナに収容し、軽トラで運び、一か所に集める。凡そ25~30kg/人・時の処理量、大量の水草の回収が出来、一時的にはきれいな湖岸となった。継続的活動の必要性を感じる。寒かった身体も暖かくなり、適度の運動で、心地よい疲れを感じた2時間であった。

○ 参考

1) 猪苗代湖 福島県会津若松市、郡山市、猪苗代町にまたがる国内4番目の広さを持つ。2002~2005年度 水質日本一であったが、2007年にランク外に転落。

2) NPO 輝く猪苗代湖をつくる県民会議

2015年2月 同NPOを設立。前身の「清らかな湖、美しい猪苗代湖の水質環境研究協議会」を発展させ、『水質日本一の復活』の活動を行っている。

中村氏(日本大学工学部名誉教授)が活動の中心となって推進している。

○ あとがき

松愛会郡山分会とPGU福島地区連の参加に対し、中村氏に時間を取って頂き、3者の事前打ち合わせを行い、今回の活動と相成った。我々の活動、手始めのものであり、次年度以降、継続的な、そして、より拡大した形を目指したいものである。